

# キッピッピ

三田市立図書館



2026年



6月

ほん

## あたらしい本がはいったよ



### つきよのたまご

なかがわ ちひろ／文 さとう ゆうすけ／絵  
BL出版 2026年3月 Eサト

木がおいしげったところにくらしているぽぽろ。そのすがたは花や虫、どうぶつにもにっています。そんなぽぽろがいまいちばんたのしみなのは、もうすぐいもうとがうまれること。いつうまれてくるのかな。どんなこなんだろう。ぽぽろのくらしを、そーっとのぞいてみましょう。



### かぜのここかぜ

高畠 じゅん子／作 黒井 健／絵  
ひさかたチャイルド 2026年3月 Eクロ



あるはれたひにうまれた、ちいさなかぜのこ、ここかぜちゃん。あてもなくすすんだうみで、はるいちばんにふくかぜをきめるたいかいにでくわします。じぶんもらいねんのはるいちばんになりたいとおもったここかぜちゃんは、うみかぜさんたちといっしょに、はやくはしるとつくんをかいしします。

## 《本館》 たべてたべてまたたべて

いますぐにでもたべたくなるような、おいしそうなたべものが出てくる絵本をあつめました。



## ワニのワッフルケーキやさん ワニツッフル

谷口 智則／作 丸尾 靖子／装丁 アリス館 2016年7月 Eタニ

ワニのカップルが、ワッフルケーキやさんをひらいています。おきやくさんはだれも、ワッフルを作っているところを見ることができません。いったい、どのように作られているのでしょうか？

## 《ウディタウン分館》 おうちで楽しもう

梅雨がやってきました。おうちで楽しくすごせるものがたりやおてんきの本をしょうかいします。

あめ ほんや  
雨ふる本屋

日向 理恵子／作 吉田 尚令／絵 童心社 2008年11月 Nヒナ

おつかいの帰り、雨がはげしくふりだしてきて、ルウ子は近くのたてもものかけこみます。ルウ子はたてももの中をひたすら歩き、“雨ふる本屋”に出会います。むかえてくれたのはドードー鳥の店主やふしぎなようせいたち。さあ、ルウ子のぼうけんがはじまります。



## 《藍分室》 おいしいおいしいパンとごはん

こんがりやけたパンにほかほかのごはん。どちらもとってもおいしいですね！心がほっこりするパンとごはんの本をあつめました。

## パンズー

misato.／作・絵 PHP 研究所 2026年2月 Eミサ

パンみたいなどうぶつたちがあつまるお店「パンズー」へようこそ！お店のなかには、こんがりこばしくていいにおいがします。どんなこたちがいるのか見てみましょう！





# みつけたよ！<sup>ほん</sup>こんな本



## つくしちゃんとながれぼし



いとう みく／作 丹地 陽子／絵 福音館書店 2025年2月 Nイト  
 つくしちゃんはいわくらくんに、いろえんぴつをかしてといわれました。でも、いわくらくんはらんぼうだから、だいじないろえんぴつをかしたくありません。つくしちゃんはどうするのでしょうか。つくしちゃんのお友だちのことを思いやる、やさしい気持ちがつまった3つの物語が書かれた本です。

## ホタルの<sup>ひかり</sup>光をつなぐもの



福岡 伸一／文 五十嵐 大介／絵 福音館書店 2025年3月 486/25

おがわ 小川でホタルの<sup>ようちゅう</sup>幼虫をみつけた<sup>おんな</sup>女の子。「お家で<sup>うち</sup>育てて、<sup>そだ</sup>光るホタルになるの<sup>み</sup>を見てみたい。」といいました。ホタルが<sup>そだ</sup>育つためには、<sup>なに</sup>何がひつようでしょう。<sup>おんな</sup>女の子といっしょに<sup>かんが</sup>考えてみませんか。

## と しょ かん いん き い 図書館員のお気に入り♪

### 「まいごのコールテンくん」



ドン・フリーマン／原案 B.G.ヘネシー／作 ジョディー・ウィーラー／絵  
 木坂 涼／訳 好学社 2023年10月 Eウイ



くまのコールテンくんは、だいすきなリサへたんじょうびプレゼントをわたそうと思いつきます。ある夜、こっそり家をぬけだしてプレゼントをさがしはじめるのですが、とちゅうでまいごになってしまい……。コールテンくんとリサのおたがいを思う<sup>おも</sup>気持ちがすてきで、なかよしいいな！と<sup>かん</sup>感じる<sup>はなし</sup>お話です。

こんげつ かみ  
**今月の紙しばい**



**うみがめウーちゃんと よるのうみ**

かわしま えつこ / 脚本 いとう みき / 絵  
 童心社 2025年8月 Kウ

うみがめのこどもウーちゃんがねていると、ねむそうなメガネモチノウオのおじさんがよりかかってきました。びっくりして目がさめてしまったウーちゃんは、よるのうみをおさんぽすることにします。ゆらゆらゆれるイソギンチャクの中<sup>なか</sup>では、クマノミちゃんがうとうと。そのとき、「ザアアーツ」と音<sup>おと</sup>がして大きなかげが近づいてきました。ふしぎがいっぱいのよるのうみのおはなしです。

なるほど!



**たべものまめちしき**

ネバネバしているのがとくちょうの「なっとう」。ごはんのおともとして古<sup>ふる</sup>くからしたしまれてきた食<sup>た</sup>べものです。

こんげつ  
 今月は  
 「なっとう」  
 だよ!



みんながよく知っているネバネバとしたなっとうは、「糸<sup>いと</sup>引きなっとう」といい、しおをつかわずに作<sup>つく</sup>られています。日本食<sup>にほんしょく</sup>に足りないタンパク質<sup>たんぱくしつ</sup>をおぎない、むかしからけんこうをまもってくれていたそうです。



なっとうを食<sup>た</sup>べるときにはよくかきまぜて、糸<sup>いと</sup>をたくさん出<sup>だ</sup>したほうがそれだけうまみの元<sup>もと</sup>ができるそうです。やくみとして、かつおぶしやのり、ネギなどをくわえて、いろん<sup>た</sup>な食<sup>かた</sup>べ方をしてもおいしいですよ。

参考文献 『つくって あそぼう[2] なっとうの絵本<sup>えほん</sup>』